

北海道の印刷

1

第824号

2025年1月1日発行

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

謹賀新年



美幌峠から望む初日の出（川上郡弟子屈町屈斜路）

CONTENTS

3~7 年頭あいさつ

8 「北海道印刷工業組合・集団扱給油事業」のご案内

9 「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」のご案内

10 page2025のご案内

10 新年交礼会のご案内

10 令和6年度下期北海道地区印刷協議会開催のご案内 [予告]

11~15 令和7年 紙上新年名刺交歓

16 全印工連ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud」のご案内



北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。



令和7年新春を寿ぐ



北海道印刷工業組合
理事長

岸 昌 洋



明けましておめでとうございます。

昨年中は、組合運営ならびに事業推進に格別のご協力ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日に発生した自然災害や翌日の航空機事故により重たい雰囲気スタートしましたが、パリ五輪での道産子選手の躍動や道内プロ野球球団出身選手の米国での記録を塗り替える活躍など、夢や希望が叶えられることを、現実にくれた話題の多い年でもありました。

印刷産業を巡る環境は、少子化と急速な高齢化などの社会経済の構造的な課題、エネルギー・原材料価格の高騰、人手不足への対応などが強いられ、依然として厳しい状況が続いており、加えて、価格転嫁対策、脱炭素への取り組み、DXや働き方改革の推進などの課題も山積しています。

当組合では、こうした社会環境・経済状況を意識しながら、組合員の繁栄と持続的発展のため、「組織の拡大」、「広報活動の強化」、「未来を創る業界運動の展開」、「“印刷の月”行事の取り組み」、「共済事業への加入促進」、「福利厚生事業の実施」、「組織・財政状況の検討」の7本を柱として、各種事業を積極的かつ強力に推進・展開しています。

昨年も、道内唯一の印刷・情報技術発信の場として定着している「HOPE 2024」を開催し、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、各社が新たな価値を見出し、新しいかたちのビジネスを展開し、発展を続けるための機会を提供することができました。

印刷産業は、紙媒体の需要減少に伴い、印刷市場は縮小傾向にあります。デジタル印刷技術の普及により、短納期・小ロット対応が可能になり、顧客満足度が向上していることは見逃せません。

文化と情報コミュニケーションの担い手である印刷産業の果たす役割と責任はさらに重要になり、社会や人々から求められる期待も日増しに大きくなっています。

これをチャンスと捉え、地域密着型ビジネスの強みを活かし、新たな事業領域創造を目指し、「印刷“創注+造注”」に果敢に挑み、「価値協創」で未来を拓き、印刷産業がDXで世の中をより便利にし、地域に根ざし、人々の暮らしを彩り、幸せを創る産業として、さらなる発展を期したいと願う新年です。

最後になりましたが、本年は蛇のようにしなやかで柔軟な姿勢を持ち、困難を乗り越え、成長していく一年になることを願い、関係諸官庁・各機関・団体をはじめ関連業界ならびに組合員・賛助会員の皆様の一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。新しい年が多くの皆様にとりまして、より良い、実りの多い年となりますことを祈念しまして、新年のごあいさつとします。



経済産業省
北海道経済産業局長

鈴木 洋一郎



我が国は、名目GDP600兆円、設備投資100兆円をそれぞれ超え、賃金も33年ぶりの高い賃上げ率を実現させました。半導体やデータセンターなどハード面での国内投資が地域経済の大きな牽引役となり、「失われた30年」から「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行の潮目にあります。

一方、北海道は全国を上回るペースで人口減少が進むほか、高齢化率も全国平均に比べて高水準である等構造的な課題に直面しています。また、賃上げを行う中小企業の中には、業績改善がみられない中での「防衛的賃上げ」が行われているケースも含まれています。

「国内投資拡大、イノベーションの加速、国民の所得向上」により「日本経済・地方経済の成長」を目指し、私ども北海道経済産業局においては、以下の取組を全力で推進してまいります。

まず、DXとGXが牽引する更なる国内投資促進です。次世代半導体やデータセンターの拠点化を北海道において着実に進めていくとともに、関連する産業の取引活性化やデジタル人材の質と量の確保にも注力していきます。それら新たな電力需要をはじめ北海道内のエネルギー安定供給を目的に、徹底した省エネの推進、安全性の確保を大前提とした泊発電所の再稼働、洋上風力や地熱など地域と共生した再生可能エネルギーの導入拡大、水素・アンモニア等の新たなエネルギーの利活用拡大やCCSの事業化に向けた環境整備を進めるとともに、地域のご理解とご協力を得ながら高レベル放射性廃棄物の最終処分に取り組んでまいります。

第二に、地域の強みを生かした新たな挑戦の支援です。食・観光産業の国際競争力の強化に向けて、食品製造現場の生産性向上や輸出拡大の支援、観光資源を生かした地域産業の活性化に取り組みます。また、スタートアップ企業と大手企業とのマッチングやエコシステム等の構築に取り組んでいくとともに、宇宙産業等の北海道の特性を生かした新産業の創出も推進してまいります。中堅・中核企業の新事業展開や若手後継者（アツギ）の新分野進出の支援、中小企業等への資金繰り・事業再生など地域企業が新たな挑戦に取り組んでいくために必要な環境整備にも引き続き注力してまいります。

第三に、地域経済を支えてきた地元企業の力を生かした「地方創生」の実現です。中小企業・小規模事業者の持続的発展に向け、価格転嫁対策やパートナーシップ構築宣言等による取引適正化を推進し、賃上げに向けた企業の原資確保も後押しするとともに、中小企業の生産性向上や商品展開力・サービスの向上、円滑な事業承継等を支援して参ります。また、都市間の移動距離が長いことなどに起因する北海道で顕著な物流課題を解決するための取組など、経済活動を支える社会インフラの課題解決にも挑戦していくほか、消費者取引の適正化、製品安全確保等を進め、消費者の利益を守ります。

本年も関係機関の皆様とともに、「強い北海道経済」、「地方創生」の実現に向けて職務に邁進いたしますので、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本年が皆様にとって実りの多い飛躍の年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和7年 年頭所感



北海道知事

鈴木直道



新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新たな年を迎えられたことを、大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、能登半島地震や各地での大雨など全国で大規模災害が相次ぎ、宮崎県沖で起きた地震では、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。また、秋には、道内の農場で高病原性鳥インフルエンザが発生し、防疫対策に取り組むとともに、物価の高騰による影響が長期化しており、本道経済の活性化を図るなど、道民の皆様の命と暮らしを守る思いを一層強くする年となりました。

こうした中、本道のさらなる飛躍に向けた歩みが着実に進みました。

国家プロジェクトである次世代半導体の製造拠点ではEUV露光装置が搬入され、着実に整備が進むとともに、北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」が国に認められ、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有する北海道が、国内外から一層注目されようとしています。私自身、ニューヨーク州を訪問し、州政府関係機関と連携の枠組みを構築したところであり、先進地の知見も活かしてGX・DX産業の集積を目指します。

また、念願が叶い「日高山脈襟裳十勝国立公園」が誕生しました。多様な生態系が残る自然は世界に誇る財産であり、ヒグマとのあつれきの低減を図りながら、豊かな自然を守り、その魅力を広く発信してまいります。

観光入込客数がコロナ禍前の水準を回復しつつある中、本道経済の発展に資する観光振興が図られるよう、宿泊税の導入に向け、検討を進めてきました。引き続き、関係の皆様を丁寧に向ってまいります。

そのほかにも、全国最多1,000人以上の地域おこし協力隊の活動や、パリオリンピック・パラリンピックにおける本道ゆかりの選手の活躍、アンテナショップ「どさんこプラザ」の過去最高売上への更新、北海道米「そらきり」のデビューなどがありました。

昨年、新たに策定した北海道総合計画では、北海道の力が日本そして世界を変えていく、そして、一人ひとりが豊かで安心して暮らせる地域づくりを進めていくことを、めざす姿として掲げ、この実現に向けた取組の中で、様々な分野で北海道の未来を切り拓く可能性や輝きを実感することができたと思っています。

新しい年は、この計画を基盤としながら、道民の皆様の暮らしを守り、豊かな未来を築いていくため、大きな一歩を踏み出す年にしたいと考えています。

防災体制の確立など命と暮らしを守る取組を最優先としながら、産業振興により地域経済を活性化し、さらには、我が国の食料・経済安全保障において役割を果たしてまいります。国内最大の食料供給地域として、農林水産業の持続的な発展に取り組むとともに、次世代半導体製造のパイロットライン稼働を大きな弾みとし、再生可能エネルギーや広大な大地、冷涼な気候など多彩な強みを最大限に活かして、AIなどのデジタル関連をはじめとする新たな産業や人、投資の呼び込みを加速させてまいります。

そして、社会全体で子どもを支える「こどもまんなか社会」の実現への取組や、地域を支える人材の確保・育成を進め、さらに、戦後80年となる本年、一刻の猶予も許されない北方領土問題の解決に向け、返還要求運動に粘り強く取り組みます。

本年は、道庁赤れんが庁舎のリニューアルオープン、知床世界自然遺産の登録20周年、ウポポイの5周年、北海道で57年ぶりの全国菓子博、北海道豊かな海づくり大会の初開催など、様々な節目の年でもあります。

こうした機会も捉え、本道の自然、文化、産業などを国内外に発信し、人口減少をはじめ直面する課題を乗り越えていけるよう北海道の創生を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、輝かしい未来に向けた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭にあたって



北海道中小企業団体中央会
会長
高橋 秀 樹



新年明けましておめでとうございます。

北海道印刷工業組合の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の能登半島地震や羽田空港での航空機衝突炎上など、大きな災害で幕を開けた年でありましたが、7月に開幕したパリオリンピックでは、道内関係選手たちの奮闘、活躍が多くの感動をもたらし、特に陸上競技、スケートボード、柔道ではメダルを獲得するなど、明るい話題もありました。

また、6月には北海道が「金融・資産運用特区」の対象地域として指定されており、今後、洋上風力発電や水素などGX産業のサプライチェーンの構築や海外資産運用会社等の誘致などが見込まれ、地元経済の波及効果が期待されるところです。

そのような中、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー・原材料価格の高止まりや長期化する円安、各産業における人手不足は深刻な状況であり、会員事業者の経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

加えて、歯止めのかからない人口減少や少子高齢化の進展、デジタル化や脱炭素化実現のためのグリーン改革などの課題にも対応しなければなりません。

一方、本年5月には、お菓子のオリンピックとも呼ばれている「全国菓子大博覧会」が、北海道では57年振りに旭川市で開催され、全国の応募菓子審査で受賞した商品の展示やお菓子の実演見学などの一大菓子イベントであり、道内経済の活性化が見込まれるところです。

また、国では、賃上げ環境の整備などを柱とした経済対策を決定しており、価格転嫁の円滑化等の環境整備をはじめ、省力化・デジタル化投資への支援のほか、物価高への対策として、燃料油価格の激変緩和措置や電気・ガス料金の負担軽減措置を実施することとしており、道内事業者の経営の安定や改善が期待されるところです。

このような状況の中、地域に根ざした事業活動を行う中小企業・小規模事業者が持続的に発展していくためには、相互扶助の精神を基本として協同で経営資源を補完する中小企業組合組織の活動が大変重要であると考えています。

本会といたしましても、「連携の絆を深め、輝く明日へ」のスローガンの下、会員事業者が直面している課題解決への支援に積極的に取り組み、皆様の事業活動の継続とさらなる発展につながるよう努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様におかれましては、希望に満ちた良い年となるよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



全日本印刷工業組合連合会
会長

瀬田章弘



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、本年も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

昨年5月に会長を拝命し、以来新執行部一丸となって業界の課題解決、未来に向けた組合員各社の発展のための事業を推進して参りました。また、昨年9月に大阪市にて開催いたしました「2024全印工連フォーラムIN大阪」には、全国から400名を超える方々にお集まりいただき、全印工連事業をより一層ご理解いただくとともに全印工連の団結と協調を強めると共に、印刷をコアにした地域の課題解決業への展開を価値協創で拓く未来として冊子の配布、前田元中小企業庁長官の講演、フォーラムメッセージを通じて業界の将来像に対する新たな指針を発表し業界の方向性を再認識して頂くことが出来ました。これも偏に全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への様々な制限は緩和されましたが、国際情勢不安や円安によるエネルギー価格、原材料価格の高騰、人手不足、賃上げや取引の適正化に向けた価格転嫁対応等、依然として多くの経営課題が山積みし、中小印刷業界は、厳しい経営環境への対応がもめられる年となりました。

このような状況の中、全印工連では、『Happy Industry』～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～という理念の下、同質化からの脱却、供給過剰の解消に向け「価格競争」から互いを伸ばし合い活かし合う価値協創のエコシステム作りを目指し、CSR経営の推進、差別化による収益性の向上、経営基盤の強化、組合の強靱化に取り組んでまいりました。

全印工連は、創立70周年に当たる記念すべき年を迎える本年も引き続き、「価値協創」へと繋がる各種事業に積極的に取り組んで参ります。特に文化や教育、経済活動における紙メディアのサステナブルな価値や情報媒体としての効果の研究と訴求して参りたいと考えております。また、地域の課題を解決するローカルゼブラへの取り組みについて力を注いで行く所存でおります。併せて、全日本印刷産業政治連盟や中小印刷産業振興議員連盟との連携による印刷業界のさらなる地位向上、取引の適正化、官公需取引改善など組合員各位とともに印刷産業の持続可能な発展に向け一層精進してまいります。

本年が皆様にとって明るい希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

ガソリン・軽油が高騰しています。1月から、さらに補助金が縮小されます。 北海道印刷工業組合「集団扱給油事業」のご案内

ガソリン・軽油を廉価で購入し、経費節減！が可能

北海道印刷工業組合は、独自の共済事業として、ガソリン・軽油が市価より廉価で購入できる「集団扱給油事業」を実施している。

北 海道印刷工業組合は、陸事総合協同組合と提携し、「集団扱給油事業」を実施している。

この集団扱給油事業は、ガソリンと軽油が対象で、組合員企業の自動車の給油を集団扱いで取り組むことにより、市販のガソリン・軽油価格より廉価で購入できることから、組合員企業の経費削減の一助を目的としている。

また、従業員の自動車も対象となるので福利厚生の向上にも利用できる。

価格基準は、道内一律価格となっている。

対象製品は、ハイオクガソリン、レギュラーガソリン、軽油の3種類となる。

給油先は、ENEOS、コスモ、出光の全道のガソリンスタンドとなり、同一の看板（メーカー）であれば、どのスタンドで給油しても契約価格で給油でき、代行手

数料は不要となる。

価格は、資源エネルギー庁石油情報センターの当月全国平均価格からガソリンは4円引き（コスモは5円引き）、軽油は同じく7円引き（コスモは8円引き）となり、これが基準価格となる。

実際の販売価格は、この基準価格を下回る価格で取引が行われている。（下表参照）

給油方法は、給油カードを使用し、キャッシュレスで後払い（口座振替・振込み）となる。

また、利用明細が発行されるため車両管理にも役立てることができる。

この制度の利用にあたって、出資金10,000円（退会時に返還）と1法人1,200円の年会費が必要で、加入にあたっては与信審査がある。

これだけ
お得です！

団体扱給油事業価格（陸事総合協同組合） 【基準価格】資源エネルギー庁 石油情報センター

レギュラーガソリン ENEOS・出光（単位：円/1ℓ）

	北海道平均価格 A	全国平均価格 B	陸事総合協同組合		利用差額 E
			契約販売価格C (全国平均-4.0)*	販売実績価格 D	D-A
2024/11	173.8	174.7	170.7	167.5	-6.3
2024/10	174.1	174.9	170.9	167.7	-6.4
2024/9	173.6	174.6	170.6	164.8	-8.8
2024/8	172.0	174.5	170.5	163.4	-8.6
2024/7	174.8	175.6	171.6	165.8	-9.0
2024/6	173.3	174.7	170.7	167.0	-6.3

※コスモは、全国平均の5.0円引きになる。

軽油 ENEOS・出光（単位：円/1ℓ）

	北海道平均価格 A	全国平均価格 B	陸自総合協同組合		利用差額 E
			契約販売価格C (全国平均-4.0)*	販売実績価格 D	D-A
2024/11	156.5	154.4	147.4	145.4	-11.1
2024/10	156.8	154.5	147.5	145.6	-11.2
2024/9	156.4	154.2	147.2	143.8	-12.6
2024/8	154.7	154.2	147.2	142.4	-12.3
2024/7	157.5	155.2	148.2	144.8	-12.7
2024/6	154.4	156.0	149.0	146.0	-8.4

※コスモは、全国平均の8.0円引きになる。

北海道印刷工業組合 「集団扱火災保険」のご案内

北海道印刷工業組合は、組合員企業の経費節減の一助とするべく「集団扱火災保険」を行っている。

当 組合が実施している「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」は、火災保険を集団扱いとして取り扱うことにより、組合員の皆さんが現在加入している火災保険を、補償内容をこれまでとほぼ同内容として保険料が約5%割引適用できる制度となっている。

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」の引き受け保険会社は、三井住友海上火災保険株式会社となっている。

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」は、組合員のみが利用できる制度であり、組合加入メリットの一つでもある。

また、「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」は、会社社屋・工場のみならず従業員の方々の自宅の火災保険も加入できるので、従業員の福利厚生制度の一つとして利用いただくことも可能となっている。

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」への加入時期は、現在加入いただいている火災保険の次の更新時からが最適となる。

なお、当組合では、この制度の推進に向けて、取扱代理店として、三井住友海上火災保険株式会社指定の代理店であります「株式会社ばんしょう札幌支店」に協力を依頼しており、同社が全道地域を担当している。

割安

**集団扱の
メリット**

- ・ 保険料は割増なしで分割払！
- ・ 1年一括払にする
と集団扱以外のご契約の一時払と比べて保険料が約5%お得！

お客様のニーズに合わせた補償設計が可能です！

「財物損害」、「休業損害」のいずれか、もしくは両方をご選択いただき、補償の必要性、予算などに応じて、充実補償の「ワイドPlus」、「ワイド」、基本的な補償をそろえた「ベーシック」、「エコマー」の4つの契約プランから補償内容をお選びいただけます。

財物損害
の補償



火災をはじめ、台風や豪雨などの自然災害、その他偶然な事故により財物に生じる損害を補償します！

休業損害
の補償



事業に使用する建物等が損害を受け、休業した場合に生じる損失を補償します！

事業形態に応じた幅広いリスクを選んで・まとめて補償します！

豊富なオプション特約で賠償責任や類焼損害などの幅広いリスクに対応します。



お客様の事業に役立つ3つの付帯サービスをご利用いただけます！

被災設備修復サービス



火災等で被災した設備を、被災前の機能・状態に修復し早期の事業復旧を支援するサービスです。

気象情報アラートサービス



風災、水災等の自然災害への事前対策に有効な気象情報を配信するサービスです。

人事・労務相談デスク



事業に関するトラブル等について、弁護士や税理士、社会保険労務士へ相談できるサービスです。

北海道印刷工業組合・集団扱火災保険

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

取扱代理店社

株式会社ばんしょう札幌支店

〒063-0841 札幌市西区八軒1条西1丁目1番26号
NCウィング琴似ビル202

電話 011-632-1230 FAX 011-632-1233

担当者：富山英男

「page2025」のご案内

公益社団法人日本印刷技術協会は、「page2025」を、印刷会社がさまざまなステークホルダーと連携しながら共にビジネスチャンスを作るため“共奏”をテーマに、144社480小間が出展し開催する。

今年で38回目となる「page2025」は、カンファレンス・セミナーを2月7日から19日までオンライン配信で行い、基調講演は、2月19日に展示会場内特設会場でリアル開催する。

展示会は2月19日から21日まで、池袋のサンシャインシティ文化会館で開催する。

また、今回は、新聞製作技術展「JANPS」とジョイントした新たな試みとして「JANPS in page2025」が開催される。

■カンファレンス・セミナー

日時：令和7年2月7日(金)～2月19日(日) オンライン配信

■展示会

日時：令和7年2月19日(日)～21日(火) 10:00～17:00

会場：サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区東池袋3-1）

入場料：1,000円（税込み、Webによる事前登録で無料）

詳細は、右記ホームページを参照ください。 https://www.jagat.or.jp/cat8_2025

令和7年新年交礼会日程

名称・支部	日時	時間	会場
北海道印刷関連業協議会	1月8日(日)	17:00	札幌グランドホテル
旭川支部	1月23日(日)	17:00	OMO7旭川
十勝支部	1月29日(日)	18:00	IN THE SUITE
札幌支部例会	2月13日(日)	18:00	札幌東急REIホテル

予告

令和6年度下期北海道地区印刷協議会開催のご案内

北海道印刷工業組合は、令和6年度下期北海道地区印刷協議会を下記により開催する。

日時 令和7年2月28日(日) 14:00～18:40

全体会議

14:00～15:00

分科会（委員会）

15:10～16:10

総括会議

16:15～17:00

情報交流会（懇親会）

17:10～18:40

会場 札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目

※正式な開催のご案内は別途送付される。